

## グループワーク 報告書

テーマ「これからのきよみ野西自治会のあり方」

2022年1月16日

2021年度きよみ野西自治会

## 目 次

1. はじめに	・ ・ ・ ・ ・ 1
2. グループワークの主旨	・ ・ ・ ・ ・ 1
3. グループワークの進め方	・ ・ ・ ・ ・ 1
4. グループワークの結果	・ ・ ・ ・ ・ 2
5. グループワークで出された意見の集約	・ ・ ・ ・ ・ 9
6. 各グループの討議結果の発表	・ ・ ・ ・ ・ 10
7. グループワークの総意（投票結果）	・ ・ ・ ・ ・ 10
8. 2021年度役員会としての見解	・ ・ ・ ・ ・ 10
9. 中長期の課題	・ ・ ・ ・ ・ 12
10. あとがき	・ ・ ・ ・ ・ 12

## 1. はじめに

この報告書は2021年度きよみ野西自治会役員会で「これからのきよみ野西自治会のあり方」をテーマに2021年11月14日に実施したグループワークの報告書です。ここで取り上げられた課題は中長期の視点で取り組んで行くべきものであり今後の取り組みの参考データとして活用して頂きたいと願っております。

## 2. グループワークの主旨

1996年に誕生したきよみ野のまちも今年で25年の節目の年を迎えました。先人たちがゼロからスタートさせたきよみ野自治会も2002年には東西の自治会に分かれて今日に至っております。住民の高齢化に伴い今後とも持続可能な自治会活動を継続していくためには単に活動を継承していただくだけではなくまちの成熟に見合った活動にしておくことが求められます。

そこで、2021年度役員会としてはおそらく初めての試みだと思いますが、グループワークを実施致しました。テーマは「これからのきよみ野西自治会のあり方」です。本グループワークの内容があらたな自治会活動26年目の歩みにつながってくれることを期待しております。

## 3. グループワークの進め方

### 1) グループ編成

グループを各5名の4グループに編成しました。

- ① グループA：田中・鈴江・二瓶・小松・片山
- ②. グループB：砂島・田村・菅原・鈴木・三浦
- ③. グループC：府木・伊藤・佐々・高山・竹添
- ④. グループD：安藤・伊東・飯塚・萩原・溝口

### 2) 切り口・論点のヒント

よりよいきよみ野の未来をイメージして頂くためにグループワークの切り口・論点のヒントを以下通り紹介しました。

- ① 「自治会の本来のあるべき姿」はどのような姿が望ましいですか？
- ② よりよいきよみ野の未来をイメージして下さい。
- ③ 現在の自治会の規模は適切でしょうか？どのくらいの規模が適切と思いますか？例えばきよみ野自治会が東西に分かれた時はほぼ東西それぞれで500世帯でした。それが今は東西それぞれで1000世帯の規模となっています。
- ④ 専門委員会（よりよいきよみ野を創る会・きよみ野防犯連絡協議会）やきよみ野くらぶ、子供会・みんなの寺小屋・なまらん委員会等は助成金を渡しているだけの関係で良いのでしょうか？

- ⑤ブロック活動についても自治会役員会はそれぞれのブロックにお任せが良いのでしょうか？
- ⑥今後、高齢化が進む中で自治会役員の輪番制度は維持できますか？
- ⑦自治会役員の世代交代はどのように図れば良いのでしょうか？
- ⑧自主防災防犯組織は現実に大災害時に機能しますか？

### 3). 注事事項と具体的な流れ

- ①一つの意見は一つの付箋に書く。一人は何枚書いても良い。
- ②意見は前向きな建設的な意見とする。
- ③人の意見を否定してはいけない。
- ④討議にはみんなが平等に参加できるように発言の少ない方には声をかける。
- ⑤一人の人が長々と話をしないようにする。
  - ・初めに各人様々な切り口で意見を述べグループ内で話し合いをする。
  - ・話し合いを踏まえて各自の意見を付箋に書く。複数枚書いてよい。
  - ・ひとり一人付箋の意見を読み上げて付箋を模造紙に貼っていく
  - ・途中でも同じ意見であれば同じ意見の付箋の近くにその意見の付箋を貼る。
  - ・発表が進むと自然に同じ意見の付箋の集まりのグループができる。  
(そのグループを代表する意見をグループの意見として模造紙に書く)
  - ・どのグループに入らない意見を無理にグループに入れる必要はない。
  - ・優先順位を付けて上位3つの意見を各班の総括として模造紙に書く。
  - ・それ以外に残したい意見があれば書き加える。
  - ・班ごとに5分間で発表する。
  - ・4つの班の発表が終わった段階で一人3枚のシールを各班の模造紙の意見に貼る。
  - ・残したい意見にはシールは貼れません。
  - ・最も投票シールが多かった上位3つの意見を今回のグループワークの総意とする。

### 4. グループワークの結果

グループワークの結果、総枚数86枚の付箋に書かれた意見が出されそれぞれのグループで次ページに示すキーワードで整理されました。

グループA

キーワード	防災・防犯（活動を増やす）		
要約	防災・防犯活動の維持・充実		
提出された意見 （順不同）	防災系に注力し仕組みを変える（ブロックごとに年数回の訓練など）	世代に関係なく共通の活動を増やす。→防災・防犯活動	防災に関しては機能が難しいと感じます。→今こそ必要などところを強化すべき。
	監視カメラの設置・管理を始めとした住民の安全を確保するための施策の実施に注力		

グループA

キーワード	夏祭り（縮小と運営方法の見直し、委託、子供の減少）		
要約	夏祭りの縮小・廃止の検討		
提出された意見 （順不同）	規模の縮小の検討が必要な時期にきている。	夏祭りについて縮小しているタイミングなのでは	夏祭りや掃除など業者にしてもらい会員の活動を楽にする。（役職の見直し）
	夏祭りの運営を専門業者に委託し、多少規模は小さくなくても、自治会役員の負荷を減らす。		

グループA

キーワード	保守・維持の恒久性		
要約			
提出された意見 （順不同）	住人の交流のための自治会から住人の安心・安全のための自治会へのシフトの時期なのでは	公園・公共の場の維持管理をシルバー人材センターなどに外部委託する。	

グループA

キーワード	自治会活動（会員は気にしていない。とにかく役員はできない）		
要約	自治会活動の見直し		
提出された意見 （順不同）	住人全てが参加できる自治会、メリットのある自治会	自治会に再入会しないといけないと考えるような活動・仕組みをつくる。	自治会の活動を見直す時期になっている。何をどの様な形で運営していくか検討する活動を行う必要があるのでは
	ブロック間で活動情報を共有して活動していく（各ブロックの活性化）		

グループA

キーワード	その他		
要約			
提出された意見 (順不同)	きよみ野の25年前は「発展の時代」、これからは「保守の時代」	「保守」=きれいな街の維持=防犯はしっかりした町、安全な地域	保守の時代に大切な活動へシフト
	自治会役員の大変さを軽減(企画へ集中→委託化の推進、環境維持、防犯の強化)	夏祭り<保守へ	

グループB

キーワード	活動内容を子供と老人に特化		
要約	夏祭りで老人向けコーナーを、年金・介護保険の講習会を		
提出された意見 (順不同)	活動内容を高齢者向けのものにシフトする。	老人向けコーナーを夏祭り他行事に作る。	未来の自治会員 子供会にアピールする。
	自治会主催の年金、介護保険の講習会等を開く。	子どもと老人にアピールの重点を置く(行事等)	

グループB

キーワード	夏祭りの縮小		
要約	やぐらを止める		
提出された意見 (順不同)	夏祭りの規模の縮小	夏祭りの縮小を	夏祭り規模縮小、参加人数減少に伴い見直し。
	夏祭りの縮小		

グループB

キーワード	役員の輪番制、業務の見直し		
要約	仕事を減らす、外部委託も視野に、やってくれる人を募る		
提出された意見 (順不同)	未加入の方は広報誌を市役所に取りに行く。	役員の輪番制は仕事を減らせば維持できると思う。	あるべき姿→業務量が多すぎ、やった方が良い業務よりやらなくて良い業務の洗い出し。
	高齢者にとっては自治会活動は大変な負担。外部委託の検討が必要。	きよみ野地区の高齢化は進んでいるが、住民のできる範囲で自治会活動をすればよい。	外注できるものは外注で良いと思う。
	役員をやってくれる人を募ることも検討。	今の役員に何故やめていないのかをアンケートを取ってみる。	世代交代は困難。親子の同居家庭はほとんど望めない。
	役員活動・作業で外注できるものは外注する。	役職長の仕事をもっと減らすべきだと思います。	高齢化に伴い外部委託を検討

グループB

キーワード	その他		
要約			
提出された意見 (順不同)	避難訓練はちゃんと行う。	年1回訓練をした方が良い。	自主防災防犯組織は1年だけなので難しいのでは。
	世帯数500を考えるとある程度ブロック分けは必要。	自治会の規模は500世帯ぐらいが適当では。	自治会の規模は500世帯ぐらいが良いと思う。
	自治会の規模を縮小しても良いのでは500世帯ぐらい。	ポケットパークの維持管理が困難なブロックは市に返還しても良いのでは？	専門委員会の活動に役員(地域支援)も参加すると良い。

グループC

キーワード	輪番制度の維持が難しい		
要約	輪番制度の維持（会員の年齢構成を考えて決める）		
提出された意見 （順不同）	人口年齢分布のデータがほしい。将来のイメージを描くため。	輪番制度の維持は難しくなる。→役員・班長の回ってくるスピードが早くなる→不平等さを感じて退会者が増える。	高齢化のため自治会役員の輪番制度の維持が難しくなる。

グループC

キーワード	震災時の初動が課題		
要約	震災時の初動が対応について		
提出された意見 （順不同）	震災時の初動が課題→訓練→ポケットパークの設備	災害の時 深夜のポケットパークに街灯をつけてほしい。	自主防災防犯組織は現実の大災害時に機能するのかわからない。

グループC

キーワード	ブロック活動・役員の引継ぎ		
要約	顔の見えるブロック活動		
提出された意見 （順不同）	役員の引継ぎ課題→ブロック活動の機会を増やす。	防災防犯を分かり易く説明の場を設ける。（防災防犯担当者とブロック長）	

グループC

キーワード	その他		
要約	自治会の規模を小さくしたい		
提出された意見 （順不同）	自治会をコンパクトにして役員の負担を減らす。	規模はもう少し小さくした方がいいと思います。	



グループD

キーワード	自治会の編成（1000世帯→500世帯）		
要約	世帯数が減少することで仕事量が減る。		
提出された意見 (順不同)	自治会の規模を細かく分ける。丁目毎が良い。	自治会の規模を小さくした方が良いと思います。（世帯を少なくする）	班編成を見直し役職が回るサイクルを適正にする（少なくする）
	エリアを見直し役職が回るサイクルを適正にする。	役委員の負担を考えれば自治会の規模は大きすぎると思う。	自治会は3つに分ける。2丁目自治会・3丁目自治会・プレーシエル自治会

グループD

キーワード	役員負担増加（班の再編成）		
要約	班編成を見直し、役員順を均等化する。		
提出された意見 (順不同)	役員をやりたくないから自治会を止めてしまう方が多い。以前の役員負担が多かったから。	輪番制は難しいのではないか。	親世代→子供世代への引継ぎができない。若い人を自治会にどう取り込むか。
	高齢化率が上昇する中、隣近所とのかかわりが少ない。	役員輪番制は維持できない。17年に1回の班もあれば8年に1回の班もある。15年に1回ぐらいにすべき。	役職長の負担が大きい。
	夏祭りの負担が大きい。	イベント内夜を見直して負担軽減を図る。	配布物は学校関係がなくなったので負担がない。
	以前の神奈川にいた自治会は葬式の為の自治会だった。	新たにアパートが建つ時の対応。組織だった面もある。	

グループD

キーワード	自治会の安定維持の為		
要約			
提出された意見 (順不同)	任期は2ヶ年とする。		

グループD

キーワード	安心・安全		
要約	災害時の対応をどうすべきか再度議論する。		
提出された意見 (順不同)	災害時に防災組織は役委員だけの役割は難しい。	防犯を充実させ、より安心なまちにしたい(カメラなど)	大混乱の中では自主防災組織は機能しないと思う。家族のことが一番で。
	自治会の姿は安心・安全で過ごせる地域だと思います。	安心・安全に住みよい町づくり。	災害時は自身で一杯ではなきか。
	イメージは穏やかに過ごせる生活。		

グループD

キーワード	その他		
要約			
提出された意見 (順不同)	ブロック活動はブロックにお任せでよい。	専門委員会は助成金を生かして参加意欲のある方に続けて欲しい。	

## 5. グループワークで出された意見の集約

グループ	キーワード	要約	意見の数
グループA	防災・防犯（活動を増やす）	防災・防犯活動の維持・充実	4
	夏祭り（縮小と運営方法の見直し、委託、子供の減少）	夏祭りの縮小・廃止の検討	4
	保守・維持の恒久性		2
	自治会活動（会員は気にしていない。とにかく役員はできない）	自治会活動の見直し	4
	その他		5
グループB	活動内容を子供と老人に特化	夏祭りで老人向けコーナーを、年金・介護保険の講習会を	5
	夏祭りの縮小	やぐらを止める	4
	役員の輪番制、業務の見直し	仕事を減らす、外部委託も視野に、やってくれる人を募る	12
	その他		9
グループC	輪番制度の維持が難しい	輪番制度の維持（会員の年齢構成を考えて決める）	3
	震災時の初動が課題	震災時の初動が対応について	3
	ブロック活動・役員の引継ぎ	顔の見えるブロック活動	2
	その他	自治会の規模を小さくしたい	2
グループD	自治会の編成（1000世帯→500世帯）	世帯数が減少することで仕事量が減る。	6
	役員の負担増加（班の再編成）	班編成を見直し、役員順を均等化する。	11
	自治会の安定維持の為		1
	安心・安全	災害時の対応をどうすべきか再度議論する。	7
	その他		2
合計			86

## 6. 各グループの討議結果の発表

グループ	1 番目意見	2 番目意見	3 番目意見	残したい意見
グループA	自治会活動の見直し	防災防犯活動維持, 充実	夏祭り縮小、廃止検討	自治会の維持のあり方
グループB	役員輪番制, 業務見直し	子供老人に特化の活動	夏祭りの縮小	自治会規模を半分に
グループC	震災時の初動活動	輪番制の維持のあり方	顔見えるブロック活動	自治会規模を縮小
グループD	自治会構成世帯数の見直し	班の再編成 (輪番年数平均化)	災害時対応(再議論)	なし

## 7. グループワークの総意 (投票結果)

各グループの討議結果を参加メンバー全員で投票を行い本日のグループワークの総意を下記の3つとしました。

順位	項目	役員投票数
第1位	役員の輪番制と業務の見直し	12枚
第1位	夏祭りの縮小もしくは廃止の検討	12枚
第2位	震災時の初動活動について	10枚

## 8. 2021年度役委員会としての当面の見解

グループワークは4つのグループに分かれて実施しましたが各グループかなり共通した課題が出されました。どの課題も単年度で解決できる課題ではありませんがその内の上位3つの課題を総意として取り上げまして2021年度役員会としての当面の見解とします。

### ① 役員の輪番制と業務の見直し

本課題の本質はずばり「役員の負担軽減課題」であり、本課題はきよみ野西自治会に限らず全国全ての自治会での課題です。この課題は単年度で解決できる課題ではなくきよみ野西自治会としては每期着実に「役員の輪番制と業務の見直し」は運動論として創意工夫によって改善に取り組んで参ります。今期も各役職での総意工夫で出来る改善が図られております。役員の輪番制の見直しは大変な作

業を伴いますが今年度はまずは会員減少が著しいフレッシュブロック（現時点で自治会加入率36%）を2ブロック4班体制から1ブロック2班体制に見直し役員の輪番を検討したいと考えています。早速、2022年1月29日にフレッシュ自治会員とのミーティングを行い検討致します。

自治会役員の負担軽減だけでは会員減少の根本の解決にはならないと考えています。最も重視しなければならないことは「自分たちの地域コミュニティは自分たちの手で担わなければならない。そしてご自分の住む地域コミュニティについて帰属意識と誇りを持つ」という根本の考えではないでしょうか。それには「地域コミュニティとは何か・地域コミュニティを支える組織とは何か」についての常に学習や教宣が必要と考えます。現在、「きよみ野地区地域支え合い会議」の立ち上げに当たっての学習会において「地域コミュニティの置かれた現状とその衰退により引き起こされる問題を踏まえて、地域コミュニティの機能を強化していくことがいかに自分たちの住んでいるまちづくりの上で大切かを学びその具体的な方策を考える場がいかに必要であるか」を企画しております。今後はこの種の学習の機会を増やしていくことが大切と考えております。

## ② 夏祭りの縮小もしくは廃止の検討

本件についてはグループワーク以前に既に夏祭り役職メンバーにおいて見直しの検討に着手しているとお聞きしております。夏祭りはきよみ野東西自治会の共同事業であり本検討課題は東西自治会の検討の場において審議される課題であり、2022年度の夏祭り担当役職に引き継いで参ります。以前より負担が大きいとの意見があり、次年度開催となれば三年ぶりとなり、前回開催時の経験を参考にしづらく困難と考えられます。

### （二瓶役職長 報告）

夏祭りについてはコロナ影響から昨年、今年と2年中止となっている状況に加え

- ・引継やその資料を拝見すると夏祭り開催の負荷が高いという声が多い事。
- ・今後、開催方向とした場合でも3年経過する現状から「経験役職長」からアドバイスを頂く事も難しく、相当の負担となる事が想定される。
- ・前回グループワークにおいても皆さんから「見直す」事については総意を頂いた。

以上の状況から2022年2月新役員決定までには東西役員や当方メンバーの力を借りて「こういう事はできないか、こういう事を検討できないか」をまとめ、提案する予定です。また、皆さんからもお知恵や提案を頂きたくよろしくお願い致します。

### ③ 震災時の初動活動について

「震災時の対応」は自治会として備えるべき最も重要な機能です。グループワークの4グループの内3グループの総括意見に「震災時の対応」が取り上げられていたことは役員の皆さんの自治会に対する見識の高さに驚かされました。

本件につきましては2021年度に防災防犯役職によって震災時活動マニュアル(骨子)を取りまとめて頂き、10月の第6回合同役員会の席上で「読み合わせの机上訓練」を行いました。今後は本マニュアルの内容を全自治会員に周知徹底する目的でホームページに公開(既に実施済み)すると共に全自治会員に配布する第19回議案書に綴じ込みます。また、震災時活動マニュアルも每期安否確認訓練を行いさらに実情に合った実践可能な内容に改定していきます。

また、フレッシュブロックでは会員減少が著しく(現時点で自治会加入率36%)、自治会だけでは自主防災組織を機能させることが難しく現在管理組合と共同でできないかを管理組合理事会に打診しております。

## 9. 中長期の課題

7章で取り上げた3つの課題は常に每期運動論として改善を図って行くべき課題であり2021年度の当面の見解は次年度役員会で見直し新たに当面の見解として実行に移して行って欲しいと願っております。

ただし、3つの課題に対する当面の見解は本質的な課題解決にはならず、本質的な課題解決に取り組むとすれば単年度だけでの検討では方針を出すことが難しい課題です。以下に中長期で取り組むべき課題を示します。

- ① 抜本的な班編成の見直し
- ② 役員輪番制度の新たな制度設計
- ③ 2丁目西自治会・3丁目西自治会・フレッシュ西自治会の現きよみ野西自治会の3分割の是非の検討

## 10. あとがき

間もなく2021年度役員任期も終わります。7章で取り上げました3つの課題につきましてはそれぞれ役職毎の引継ぎ課題とさせていただきます。中長期の課題につきましては大変に重たい課題であり単年度だけでは結論が出せないと思いますが是非とも継続的な検討を每期引き継いで行って欲しいと願っております。